

八代市ケーブルテレビ管理運営審議会への諮問及び 審議会からの答申について

地域審議会説明資料

1. 意向調査の結果

全体	回収率	75.42 %	
問1	回答者数		%
(ア)CS継続	1459		58.78
(イ)CS中止	925		37.27
未記入	98		3.95
重複回答	0		0.00
計	2482		100.00
問2			
(ア)料金増脱退	202		8.14
(イ)CS中止脱退	83		3.34
(ウ)脱退しない	2106		84.85
未記入	89		3.59
重複回答	2		0.08
計	2482		100.00

問1. CS番組をどうした方がいいか

・料金が上がっても放送して欲しいという世帯が約6割、地上波だけでよいという世帯が約4割の結果となった。

問2. ケーブルテレビを脱退する可能性はあるか

・利用料金が上がった、CS番組がなくなれば脱退すると答えた世帯が、約300世帯(11%)ある。
・脱退により加入世帯が減少すれば、利用料金の増減額に影響が出る。

2. ケーブルテレビ管理運営審議会への諮問内容

- (1) 平成26年度からCS番組は任意加入とする。
- (2) 平成26年度からCS番組は民間ケーブルテレビ事業者からの供給を受けて放送する。
- (3) テレビの利用料金を区分し、料金を改定する。

3. ケーブルテレビ管理運営審議会からの答申内容

諮問内容については、適切である。

付帯意見:CS番組の編成等に当たっては、加入者の意向を十分反映させること。

4. 平成26年4月から、次のように変わる予定です

- ・ CS番組はアナログ放送からデジタル放送に。
- ・ CS番組は任意加入に。
- ・ CS番組は、テレビごとの料金に。(テレビ1台につきSTB(専用チューナー)が1台必要)
- ・ 初期費用が、STB1台につき1,000円必要に。(B-CASカード、HDMIケーブル代)
- ・ テレビの利用料金を改定。(表1-1、1-2参照)
- ・ 消費税の改正(5%から8%)による利用料金の変更。

表1-1 (現在の利用料金)

料金プラン	一般世帯	事業所	減免①	減免②
地上波(自主番組含む)のみ	1,500円	2,000円	500円	800円

表1-2 (改定後の利用料金 消費税5%)

料金プラン	一般世帯	事業所	減免①	減免②
地上波(自主番組含む)のみ	1,200円	1,700円	500円	800円
地上波+CS番組	2,150円	2,650円	1,450円	1,750円

※減免世帯等の料金は据え置き

5. CS番組構成の考え方について

- ・ アンケート調査結果の利用など、加入者の意向を反映した番組構成
- ・ 各年代や性別に配慮した番組構成
- ・ 番組購入単価を抑制した番組構成

八代市ケーブルテレビのCS番組について

■状況

- ・CS番組供給会社（スカパー）は現在、衛星を使い、SD波（標準画質）とHD波（高画質）の2種類の電波で番組を送信している。
- ・市ケーブルテレビでは現在、SD波を受信し、全加入者へ送信している
- ・平成26年4月まででSD波の送信が中止されることになった。
- ・CS番組の供給を継続する方法としては、HD波を受信するために放送センターの設備を入れ替え、加入者宅に専用のチューナーを設置する必要がある。
（費用がかかるため、料金改定が必要）
- ・CS番組の全加入者供給を中止し、希望者のみが加入・負担してもらう方法も選択肢としてある。
- ・CS番組の今後のあり方を検討する基礎資料とするため、平成24年12月下旬から25年1月にかけて、全加入者に意向調査を行った。
- ・平成25年2月21日に「八代市ケーブルテレビ管理運営審議会」を設置し諮問を行った。同日および3月6日に審議が行われ、3月27日に市長へ答申いただく予定。

■CS番組とは

- ・衛星放送の娯楽番組（時代劇・映画・スポーツ・アニメなどの専門番組）
- ・難視聴対策に付加して放送している。

■意向調査の結果

- ・CS番組の放送を継続して欲しい（料金が上がっても） 6割
- ・CS番組の放送は中止してよい 4割

■どういう方法があるか（選択肢）

- ①市で設備の入れ替え→全加入者が継続視聴 料金値上げ（+600円）CS番組10ch
- ②市で設備の入れ替え→希望加入者のみ継続視聴
CS番組以外の料金値下げ（-300円） CS番組の料金（1,100円）10ch
- ③テレビやつしろから番組供給→希望加入者のみ継続視聴
CS番組以外の料金値下げ（-300円） CS番組の料金（950円）10ch
- ④個人でスカパーと契約→希望加入者のみ継続視聴
CS番組以外の料金値下げ（-300円） CS番組の料金（基本料410円+契約番組ごとの料金）+アンテナ購入・設置料

■どういう方法が適切（公平）か

- ・CS番組は娯楽番組であり、意向調査でも約4割の加入者が「CS番組は不要」と回答しており、料金値上げを伴う全加入者継続視聴の方法（①）は適切ではないと思われる。
- ・CS番組を希望する加入者のみが、番組供給先を選択できる方法（②③④）が適切と思われる。

スカパー料金表

(単位:円)

	価格(月額)	備考
基本料金	410	

	番組名	価格(月額)	備考
1	時代劇 専門チャンネル	735	
2	日本映画 専門チャンネル	525	
3	ザ・シネマ	735	
4	スカイ・A	1,050	
5	Jsports2	600	仮の価格。本来はJsports1・2・3・4の4チャンネルパックで2,400円
6	FOX	315	
7	TBSニュースバード	630	
8	歌謡ポップスチャンネル	840	
9	アニマックス	630	
10	ナショナル ジオグラフィック	750	
	計	6,810	

契約例	料金(月額)	内訳
時代劇の1番組を契約する場合	1,145	基本料金410円+時代劇735円
時代劇と日本映画の2番組を契約する場合	1,670	基本料金410円+時代劇735円+日本映画525円
上記10番組を契約する場合	7,220	基本料金410円+6,810円

CS番組チャンネル表 平成26年4月～

	番組名	番組内容	新・継	主な視聴者
1	時代劇専門チャンネル	時代劇	継続	50～80代(男)
2	日本映画映画専門チャンネル	邦画	継続	30～60代(男女)
3	スペースシャワーTV	音楽	新規	10～30代(男女)
4	アニマックス	国内アニメ	継続	5～40代(男女)
5	ファミリー劇場	国内ドラマ	新規	20～60代(男女)
6	スカイ・A	スポーツ	継続	20～50代(男)
7	ザ・シネマ	洋画	継続	20～50代(男女)
8	ホームドラマ	韓国ドラマ他	新規	40～60代(女)
9	日テレG+	スポーツ巨人戦他	新規	20～60代(男)
10	日テレ ニュース	ニュース	新規	30～60代(男女)

番組名

時代劇専門チャンネル
 日本映画映画専門チャンネル
 スペースシャワーTV
 アニマックス
 ファミリー劇場
 スカイ・A
 ザ・シネマ
 ホームドラマ
 日テレG+
 日テレ ニュース

アンケート調査結果及び入れ替え理由

視聴状況70%、継続
 視聴状況56%、継続
 音楽番組で新規(歌謡ポップスチャンネルの代わり)
 視聴状況35%、年代に配慮して継続
 幅広い世代を対象にした番組で新規(過去に放送実績あり)
 視聴状況44%、継続
 視聴状況45%、継続
 今後見たい番組第2位、新規
 今後見たい番組第1位、新規
 日テレG+とセットで供給、新規(TBSニュースバードの代わり)

歌謡ポップスチャンネル
 ナショナルジ オグラフィック
 FOX
 Jsports2
 TBSニュースバード

供給元にチャンネル設定なし、入れ替え対象
 視聴状況30%、入れ替え対象
 視聴状況30%、入れ替え対象
 供給元に単一チャンネル設定なし、入れ替え対象
 供給元にチャンネル設定なし、入れ替え対象